

# — 希望を胸に新たな門出 — 松浦市成人式

平成 26 年松浦市成人式が 1 月 4 日、文化会館で開催されました。

今年の市内の新成人は 327 人。式典は中山公仁<sup>きみひと</sup>さん（今福町）と大川内沙希<sup>さき</sup>さん（福島町）の司会で進められました。

友広市長は「皆さんは、選挙権をはじめさまざまな権利を得ると同時に、社会の一員として地域社会やわが国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという大きな責任が生じてまいります。このことを自覚し、自らの判断と責任により行動することが求められることになります。ご家族、友人、職場、地域の方々など多くの人との結びつきを大事にされ、自らの可能性を信じ、夢に向かって挑戦し続け、人間的にさらに大きく成長されることを期待いたします」と式辞を述べました。その後、代表者が二十歳の抱負を述べ、最後に百枝洋平<sup>ようへい</sup>さん（志佐町）が交通安全宣誓を行いました。



## 二十歳の抱負



尾崎安依<sup>あい</sup>さん  
(星麿町)

私たちは今日から成人として新たな一步を踏み出しますが、うれしいことや楽しいことがある半面、苦しいことや悲しいこともあるかと思ひます。しかし、大きな壁を乗り越えていくことで、また新たに成長していくことができるのではないのでしょうか。

私はこの松浦に生まれたことに感謝しています。松浦の地で信頼できる友人に出会えたことをとてもうれしく思ひます。そして友人だけでなく恩師や地域の方々を支えられ今の私がいます。その方々を含め、新成人の皆さまのこれからの人生がより良いものとなりますよう祈念します。



大原昂己<sup>こうき</sup>さん  
(御厨町)

本日私たちは人生の大きな節目を迎えました。無事にこの日を迎えられたのも今まで育ててくれた両親、ここにいる多くの仲間、今まで関わってきた多くの方々のお陰です。その方々への感謝の気持ちを忘れることなく、大人としての自覚と責任、松浦市出身者としての誇りを持ち、これから社会人として歩んでいくことをここに誓ひます。

私たちはこれから成人として社会を歩んでいきます。“人として成る”という意味の通り、社会の一員として受け入れられ、認めてもらえるようにこれからの人生に挑んでいきます。



